

# フレンズ通信

札幌医科大学附属病院  
看護キャリア支援センター発行  
No.3



3月も末となり、別れを惜しみ新たな出発を祝う中、新人看護職員を迎える準備で慌ただしい毎日をお送りのことと思います。センターも、4月1日を迎えるべく準備に明け暮れております…(´Д`;)ノ  
平成26年度のセンターの活動を駆け込みでお伝えする、フレンズ通信発行です。本号もフレンズインタビューからはじまります！

## フレンズインタビュー～今月のラッキーライラック～

今回は、平成26年度の実地指導者で、平成27年度は教育担当を担う、「**心臓血管外科・呼吸器外科看護室 秋林 多恵さん**」にインタビューをしました。

**(実地指導者としての一年を振り返っていかがでしたか?)** 当科は忙しい病棟で、求められる知識や技術も多く、命に直結することも多いため、新人さんは本当に大変だと思います。高度なことが要求されるので、それを順調に覚えることができるよう、機会を提供して指導する配慮をしました。自分が新人だったらここまでできないと思うようなことを求められる中で、新人さんは本当に頑張ったと思います。大変だったのは、その新人さんに1番合った方法で指導できるよう、指導側の方針を調整することでした。先輩に助けってもらいながらみんなで話し合い、やってきました。



**(新人さんと関わる上で大切にしてきたことは?)** その新人さんの思いや考えがあると思うので、それをきちんと聴くように心がけていました。

**(4月からは教育担当者として活躍されますが、その抱負は?)** 来年度の実地指導者は、初めて実地指導者をする人もいますので、そのサポートをしたいと思っています。実地指導者は、一人で困ってしまっていることがあります。私だけでは解決できないかもしれないけれど、何に困っているのかということ積極的に聞いてあげられたらと思っています。私が今年度、実地指導者として困ったことは、初めての実地指導者ならばなおさら困ると思うので、サポートしていきたいです。



実地指導者を経験したからこそ出てくる、教育担当者としてのあたたかいビジョンを感じました。ご活躍を楽しみにしています！今回は後輩さんとパチリ！

# 新人バツ



新人看護職員が初心者としての自覚を持ち看護に取り組むため、また患者さん・ご家族・他職種へ新人であることを提示するために、1年間新人バツを着用します。

ひよこが新芽から顔を出しているデザインは、平成26年度の新人看護職員 加賀谷祐佳さん、永井神来さん、菅原秋穂さんのデザイン案をもとに作成しました！

## 4月1日～4月7日は新規採用時研修です！

平成27年度の新規採用看護職員83名を迎え、5日間の新規採用時研修を行います。今年度の新たなプログラムとして、新人交流会、転倒・転落の予防、院内施設見学を取り入れました。院内施設見学では、普段はなかなか見ることのない、制御センターやゴミ処理施設、ヘリポートを見学します。例年より研修期間も短くなり、新人さんたちは8日から病棟勤務を開始します。ご指導よろしくお願いいたします。

## 編集後記

看護キャリア支援センターが開設して、1年が経過しようとしています。はじめは手探り状態で紆余曲折ありましたが、少しずつ自分たちの考えたことが事業や研修として実現するのを見てきて、大変な中にもやりがいを感じています。それをこのようなお便りやHPでお知らせできるのも、贅沢なことだと思っています。皆さんからも、ご意見・ご要望などありましたら、ぜひお知らせください！

## センター事業の1コマ ～看護学科編～

2年次学生の基礎看護実習2が開始となる前に、学生と実習指導者との交流会を行いました。

学生さんからは実習に関わる質問だけでなく、就職に関することや看護師としてのやりがいなどの質問もあり、実習指導者が自己の経験も踏まえながら答えました。



2月 SAPMED ST-Ns交流会 2年次学生



3月 卒業直前！看護技術セミナー

卒業・就職を直前に控えた4年次学生へ、技術セミナーを行いました。学生さんは活気あふれた演習を行っていました。「確認したい技術を振り返られて良かった」「臨床の看護師が来てくれて心強かった」との感想がありました。

## センター事業の1コマ ～院内編～



育児休業中の看護職員と、育児と仕事を調和させている看護職員が情報交換を行い、スムーズな職場復帰につなげるための交流会を行いました。

看護学科の正岡准教授と、耳鼻咽喉科看護室の塙さんをお招きし、育児と仕事の調和に関するお話をいただきました。5名の育児休業中ママとお子さんが参加してくださいました。



2月 第2回 育児休業者交流会 ママフレンズ



1月 キャリアa・re・ko・re交流会

当院の看護職員が、今後の自分のキャリアビジョンを考えたり、看護職として働き続けていく上で参考となるよう、交流会を行いました。今回は急性・重症患者看護専門看護師の神田さん、がん化学療法認定看護師の松田さんをお招きし、お二人のキャリアアップの道のり等をお聞きました。参加者からは、「自分のライフプランとキャリアアップの両方を考える上で参考になった」という感想がありました。



3月 看護師のための復職支援セミナー @札幌医大病院

復職を考えている看護師を対象とした、復職支援セミナーを開催しました。当日は24名の参加があり、現在の医療・看護の動向や感染管理の講義と、採血・点滴・ME機器の取扱いに関する技術研修を行いました。

参加者の方はとても真剣に講義や演習を受けていました。「大変勉強になった」「技術の復習ができて良かった」「もっと学びたい」等の感想をいただきました。

セミナー終了後には、ランチ交流会を行いました。フランクを経て復職した経験のある看護師として、手術部の佐藤さんをお招きし、体験談をお話していただきました。

